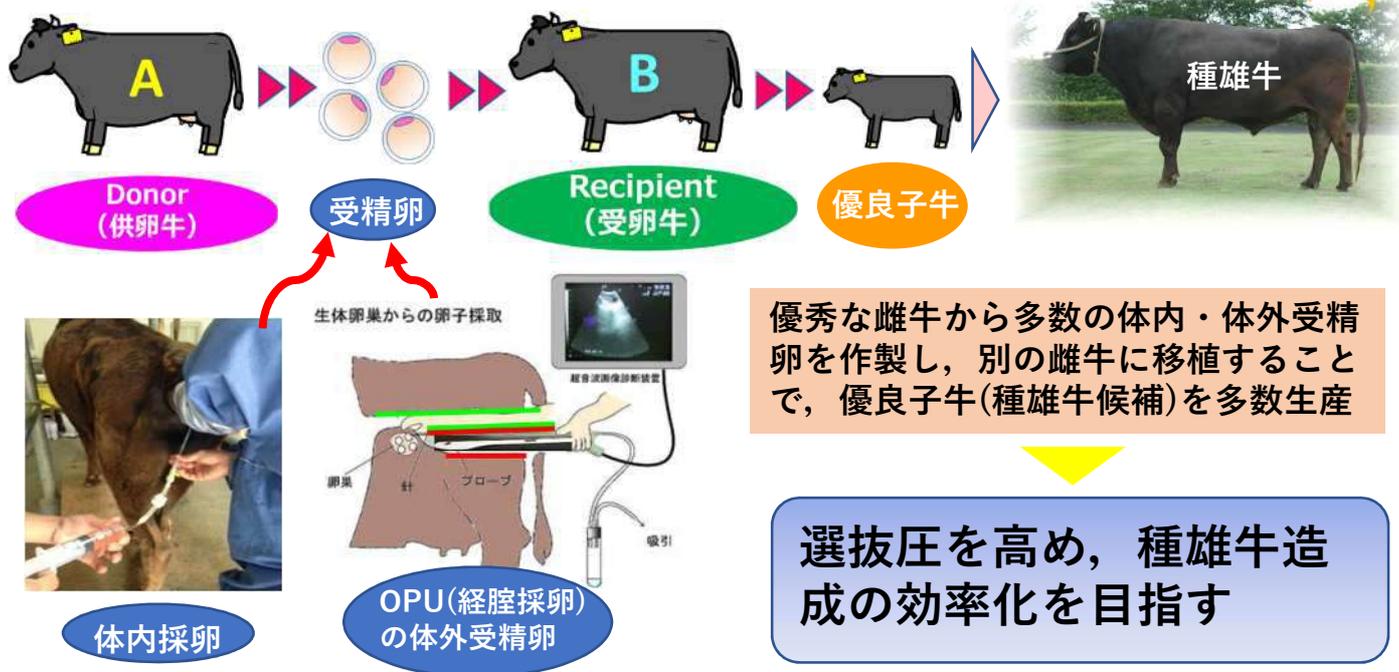


受精卵移植関連の研究

(新技術開発研究室)

- 優秀な雌牛から受精卵や卵子を採取（採卵）して、他の雌牛に移植し、優良な子牛を生産する技術（受精卵移植）が、肉用牛の改良増殖を進める一役を担っています。
- 当所では、種雄牛の造成をより効率化するために受精卵移植技術の改良に取り組んでいます。

✓ 受精卵移植の仕組み



【これまでの主な研究成果】

- ✓ クローン技術関係：受精卵クローン双子牛（九州初：1996）、体細胞クローン雄牛（世界初：1998）、リクローン雄牛（畜産動物世界初：2000）
- ✓ 受精卵の培養・凍結液の開発：セリシンを用いた単一培養法（2012）及び無血清凍結保存液（2013）
- ✓ 受精卵移植による低受胎牛（RB）の受胎促進：経産RBは、慢性的酸化ストレス状態と判明（2024）

✓ 研究テーマ

★ 一卵性双子生産による効率的な産肉能力検定（双子検定）



★ 受精卵移植による低受胎牛（リピートブリーダー：RB）の受胎促進

